

市立三次中央病院建替基本計画（案）に関するご意見とそれに対する三次市の考え方

部署名：病院企画課

市立三次中央病院建替基本計画（案）について、三次市のホームページ等を通じてご意見を募集したところ、20通（34件）の貴重なご意見をいただきました。お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方について、次のとおり取りまとめましたので、報告いたします。ご意見をお寄せいただきました皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

通	件数	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	1	ICUの病床数について、恐らくは現状を鑑みられて、無理ない範囲での現状維持を指向されていると拝察します。 増床にあたっては看護配置の問題もあり、難しいところだと思います。 しかしながら、今度少なくとも20年の貴院の位置づけは、備北地区における急性期医療の中核でありその中で機能を遺憾なく発揮し、また、病院収益を向上させる手段の1つはICUの充実だと思います。 すぐに増床は必要無い、あるいは無理であるという現状があるかも知れませんが、それでは5年後10年後への対応が難しくなる恐れがあります。 出来ましたら、ハコだけでも最低6床（あるいは8床）の面積を確保頂き応時に増床できる余裕を作っておさらないでしょうか。	ICUの増床の可能性については、常勤の救急科医師や看護師の確保の状況によるところが課題となります。 ICUは高度急性期病棟と同フロアに配置される見込みであることから、高度急性期病棟の一部をICUとして転用できるような構造や配置について、設計段階で検討してまいります。
2	2	冬季・雨天時に滑り転げる心配がない様なタイルを切望する。（駐車場から玄関までの通路が、現在心配である。右足手術後、杖をついて歩行している。）	耐滑性のあるタイルの採用など、安全性に配慮した設計となるよう努めてまいります。
	3	トイレは洋式に。	十分な数のバリアフリートイレの確保など、すべての人に利用しやすい病院となるよう努めてまいります。
3	4	もうちょっと診察を短くしてください 医療安くしてください。 救急車増設（田舎に消防署増築）救命率の上昇のため	引き続き、周辺医療機関と連携・分担を図りながら、救急対応の充実に努めるとともに、ICTの活用を推進し診療時間の短縮に努めます。
4	5	避けられない人口減少を前提とした計画を策定すべき。	限られた医療資源の効率的・有機的活用のために地域の医療機関との連携

	<p>過去に何度も架空の夢を描いてきたが人口減少はそれを大きく上回って進んでいる。今後も人間研の推計の通り人口減少は進む。それを前提に無駄な支出より次世代に借金を残さず、身の丈に合った行政に転換すべき。もともと、地方交付税により成り立っている行政。国の財政はいつまでも地方に潤沢ではない。</p> <p>経常比率の悪化は県内最悪。夢を語らず現状に沿って将来世代に何を残していけばいいかを議論すべき。そもそも、政策的経費に充てる財源はない。将来世代の負担になる有効な政策があるとは思えない。</p> <p>市民は行政を維持するための計画を望んでいない。法令で定められた行政サービスを確実に提供することで十分。無駄なことは止めるべき。</p> <p>将来を行政を客観的、冷静に見極め、人口減少と財政縮小を前提に行政は何を残し何を縮小すべきかを真剣に議論すべき。</p> <p>総合計画は、まず、冷静かつ客観的に将来の行財政や人口減少の姿を包み隠さず提示し、その前提に立って行政組織、施策の抜本的な見直し、集約、重点化を議論し、総合計画への反映を望む。市民は架空の夢より、実現可能な未来を欲している。</p>	<p>や機能の分担を図りつつ、引き続き、公立病院としての責務を果たしてまいります。</p> <p>県が策定する第8次保健医療計画および広島県地域医療構想に則り、現実として当院に求められている機能を果たしていきけるように計画を進めていきたいと思っております。</p>
5	<p>6</p> <p>病院の建て替えには反対です。</p> <p>耐用年数もまだ残っており、多額の費用を投入して、建て替えるには、費用対高価の観点から大いに疑問があります。</p> <p>三次市の人口は、確実に減少し、建て替え後は、おそらく四万人近くに減少しているでしょう。しかも、高齢化は続きます。患者は、高度医療は三次に求めず広島市内の医療機関により一層依存して行くでしょう。三次市程度の自治体病院がそのような高度医療を担う必要はないし、患者も望んでいません。ドクターの確保にしても困難でしょう。求められるのは合併町村や島根県境からの診療所では、対応困難な重篤患者意外の重症患者等でしょう。</p> <p>三次市が多額の繰出金を投入して何故、そのような立派な病院を建て替え設置する必要はないのです。経常比率県内最悪な三次市が、そのような財政負担により、将来世代は大きな痛手を負うでしょう。その責任は、この計画を推進している三次市執行部、病院管理者、議会が負うこととなります。県内全域の医療資源を分析し、真に三次市の医</p>	<p>市立三次中央病院建物については、施設・設備の老朽化や院内動線の改善、急性期医療を担う上での狭あい化、さらに古い病院構造による患者・職員のアメニティの満足度が低いこと、高齢化医療に対応しにくいこともあり、現在地での早期の全面建替えが望ましいと判断しました。さらに、近年もとめられている感染対応や災害時対応に十分堪えられないこともわかってきたこともあります。</p> <p>また、三次市の病院が担うべき機能は広島県の策定する第8次保健医療計画および広島県地域医療構想で当院に求められた内容に沿ったものとなるように計画しています。</p> <p>なお、建替えにあたっては令和6年度から設計を行う予定ですが、インシャルコストの縮減や、ライフサイクルコストの低減も含めた経済性に配慮した設計となるよう努めてまいります。</p>

		療機関が担う役割を客観的に分析し判断すべきです。 適切な機能分担の前提に立って三次市の病院が担うべき機能の範囲内で対すべきと考えます。 その前提に立てば、最低限の改修と広島市内の高度医療機関との機能分担による必要な医療機能に重点改修すべきです。	
6	7	特になし	ありがとうございます。 引き続き、新病院整備に向けた取り組みを推進してまいります。
7	8	パーキンソン病を患っているものです。 昨年の秋、本計画案に対して脳神経内科の新設を市に対しては意見書を、市議会には嘆願書か請願書だかを提出していましたが、今回の計画案にはその点が全く反映されておりません。 何故認められなかったのでしょうか。再度、新設を願います。	いただいたご意見については、前向きに検討を進めておりますが、新たな診療科を開設するためには、継続的な専門医師の確保が必要となります。引き続き、地域の中核病院として、地域に必要な診療科については、広島大学医局や広島県等と開設に向けて協議し、地域の皆様に必要な医療を提供できるよう、診療体制の充実を図ってまいります。
8	9	昨年4月から広島大学病院漢方診療センターにて実習を行い、現在は外来や入院患者の治療を行っている者です。計画書に総合診療科の新設と漢方外来の記載がありましたのでコメントいたしました。広島大学病院の総合診療科には、他の医療機関や大学病院他科にて治療効果が上がらない患者の紹介も多くあり、また、総合診療科においても改善しない患者が漢方診療センターに紹介となるケースもあります。地域の基幹病院には高度な現代医学を求めて来院します。そして現在社会は、漢方医学（湯液・鍼灸・按摩）も治療の選択肢の一つとして求めていることを実感しています。県北から大学病院の漢方外来に通院している方にとっても、総合診療科の新設に加え、漢方外来及び鍼灸按摩外来の新設がなされることを望みます	標榜科の新設にあたっては前向きに検討を進めてまいります。 数年来、広島大学と医師配置についての折衝は進めているところです。 引き続き、市民の求める医療の実現に向け、医療従事者の確保にも努めてまいります。
9	10	医師、看護師を週休3日制で雇用する。今の中央病院の退職率が高すぎる。週休3日にすることで、退職者の減少と過労者の減少、やる気のある医師、看護師を増やす残業0時間を目標とし、幅広い地域から医師、看護師、言語療法士を求人する。 良い拠点病院があれば、大企業も誘致できる。人口増加、税収が増える。 心療内科、精神神経科の新設、オンライン医療課の増設（在宅、訪問看護看護サポート）ドクターヘリ対応（屋上ヘリポート増設）高速ネット回線の増設、最先端医療ロボット手術の増設	安心・安全な医療を提供するためには医師や看護師をはじめとする医療従事者の確保が必須となります。 医師の働き方改革や看護師の交代制勤務の見直しなど、労務環境改善の取り組みを進め、引き続き、市民の求める拠点病院の維持に向け、医療従事者の確保にも努めてまいります。 また、オンライン診療や最新の医療技術の導入等について、積極的に取り組んでまいります。

10	11	<p>現在の気付いた点を記入するので、参考にしてほしい。</p> <p>車いす使用者目線で 雨・雪時。駐車場から病院入口まで、濡れたまま、移動することがよくある。車いす・ベビーカーでは困難となる。屋根があったらとバス停通路に停留所・自販機・公衆電話 BOX 設置がまちまちで、点字ブロックをまたぐことになり通行しにくい 車道に侵入する際、斜めに移動するため暴走しやすい。</p>	<p>雨や雪に濡れずに乗降できる庇の設置や、一部屋根付き駐車場（カーポート）の整備を想定しています。</p> <p>点字ブロックの利用に支障が生じないよう、安全性に配慮した設計となるよう努めてまいります。</p>
11	12	<p>癌のため2度入院してお世話になりました。その時、管がたくさんついて体が動かしにくい状態で寝ているうちに、持病の腰痛が悪化し苦しかったのですが、建替えに際してベッドのマットが腰痛予防できるものを取り入れていただけるとありがたいです。</p>	<p>ベッドやベッドマットの整備は新病院整備と関係なく適宜実施しておりますので、今後ご意見を参考に検討させていただきます。</p>
12	13	<p>全面建て替えに反対します。</p> <p>理由は以下の通りです。</p> <p>耐用年数がまだ当分残っており、必要な機能は改修で対応すべき。</p> <p>三次市は予想を上回る速度で人口減少、高齢化が進み、対策を講じても、将来その傾向は加速して行く中で、市民に将来自治体病院として経営していくことは、到底困難である。市の一般会計から毎年度経常的に繰出金を充てることとなり、厳しい財政基盤のなか、将来世代に広島県は、高度医療機能や地域医療支援機能を備えた1000床規模の病院を整備する計画であり、近隣には庄原日赤、府中北、世羅中央がある中、高度医療の機能分担、協調・協力関係を構築していくことが必要。</p> <p>市民が求めているのは、合併町村の診療所からの重症患者の円滑な受け入れや、高齢患者の慢性的な医療福祉への対応である。市域内の医療提供機能をいかに効果的に実施していくのか、費用対効果の観点からご検討いただきたくお願いいたします。</p>	<p>市立三次中央病院建物については、施設・設備の老朽化や院内動線の改善、急性期医療を担う上での狭あい化、さらに古い病院構造による患者・職員のアメニティの満足度が低いこと、高齢化医療に対応しにくいこともあり、現在地での早期の全面建替えが望ましいと判断しました。</p> <p>さらに、近年もとめられている感染対応や災害時対応に十分堪えられないこともわかってきたこともあります。</p> <p>また、三次市の病院が担うべき機能は広島県の策定する第8次保健医療計画および広島県地域医療構想で当院に求められた内容に沿ったものとなるように計画しています。</p> <p>なお、建替えにあたっては令和6年度から設計を行う予定ですが、インシャルコストの縮減や、ライフサイクルコストの低減も含めた経済性に配慮した設計となるよう努めてまいります。</p>
13	14	<p>外観ばかりを重視するのではなく便利で容易に行ける病院にしてほしい。病院のほとりに植木や樹木を植えず、すぐに病院の中に入れるように駐車場近くにつくるように又玄関に入る時段差や階段を付けないように又廊下、通路にいろんな物を置くことがないように物置を置く室を各階に沢山作ってほしい。エレベーターを玄関からすぐ乗れるよ</p>	<p>病院敷地内の植樹は、現在地に立地造成する際の条件として、敷地内に一定の緑化率が求められている関係で、植樹や芝の造成が必要となるため、新病院でも一定の規模及び費用が必要となると思いますのでご理解ください。</p> <p>その他のご意見について、参考にさせていただき、すべての人に利用し</p>

		うな所にも一つ作ってほしい。健常者や若い者ばかりが行く所ではないので高齢者、身障者も行く所なのでそんな人の為に容易に便利な建物にしてほしい。	やすい病院となるよう努めてまいります。
14	15	<p>男女を問わず年齢の方の多くはトイレの利用回数が多く、どこへ出かけてもトイレの位置を確認しておかないと安心できないと思います。回数もさることながら切迫感も強く、近くにトイレがないと安心できませんし、寒い季節はさらに憂鬱なはずです。</p> <p>そのことを理由に受診を控える事の無きようにと願います。</p> <p>そして待合室で安心して待機することが出来るように、そして足腰の弱くなった高齢者たちが不安なくたどり着ける位置に、視界の中に見つけられれば良いと思います。さらにはストレスのない十分な広さが必要だと思えます。つまりトイレに行くことに幸せを感じられる空間にならないかと思っています。</p> <p>医療のレベルももちろん大切ですが、ますます高齢化する三次市の中央病院が市民のよりどころとなるオアシスとならんことを切に願います。</p>	ご意見について参考にさせていただき、十分な数のバリアフリートイレの確保など、すべての人に利用しやすく、市民のよりどころなる病院になるよう努めてまいります。
15	16	<p>三次地区は患者層として車いすや杖歩行の高齢者が多いと思います。計画では外来部門が2階と記載されていますが、多くの患者さん方にとって2階への移動は負担にはならないでしょうか？</p>	<p>限られた面積の中での施設整備となるため、部門配置については優先度を整理しながら、設計段階で詳細検討を行ってまいります。</p> <p>いずれの場合にも、利用者の負担が軽減されるような工夫を検討してまいります。</p>
	17	<ul style="list-style-type: none"> ・内科外来での診療中に関節エコー検査が必要な場合はエコー室まで移動しています。レイアウトとして外来から検査室までの距離が遠い場合は、内科外来にポータブルエコーの配置が好ましいと思います。 ・現病院では内科外来ブースが少ないと思います。外来ブース数も十分確保していただければ幸いです。 	ご意見について参考にさせていただき、諸室の配置検討と併せ、医療機器の整備計画等についても設計段階で詳細検討を行ってまいります。
	18	<p>車で来院する患者・職員が多く、現病院では駐車場に余裕がないと思います。新病院では十分な駐車スペースがあった方が良くと思います。</p>	ご意見について参考にさせていただき、敷地内に整備する駐車台数は、現状以上の台数を確保できるよう検討してまいります。

	19	患者さんと職員両方のために、食事をする場所や売店の品揃えを充実していただければと思います。	ご意見について参考にさせていただき、アメニティスペースの確保等について、設計段階で詳細検討を行ってまいります。
16	20	<p>子供が難病でかかりつけとしてお世話になっています。全介助です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横になれるトイレがなく、おむつ交換は車中でしています。→多目的トイレ ・障害者駐車場から院内までの動線がなく雨天の時などは困ります。医療機器も濡れてしまいます。→障害者駐車場から院内までの雨よけレスパイトが始まってから数年経過していますが、本来のレスパイトに声を上げてても全くなっていません。他に預ける病院はありません。365日、いつでも利用できるように一刻も早くして下さい。→レスパイトの早急充実 ・体の硬直を防ぐことが必要です→外来リハビリ(PT・OT・ST)開設 	<p>レスパイト事業は令和2年度に開始したところであり、職員の育成も含め順次取り組みを進めているところです。</p> <p>新病院では、小児科病棟に医療型短期入所事業(レスパイト事業)用の病床2床分を確保するなど対応の充実に努めてまいります。</p> <p>その他のご意見についても参考にさせていただきます。</p>
17	21	<p>現三次中央病院建屋(築35年程度、一般的に鉄筋コンクリートは耐用年数50~60年)を取り壊さずに残し活用する。</p> <p>管理運営に費用がかかるなら市が委託業者を選定しませる。但し建屋は市が所有。</p> <p>このことは市大方針の持続可能なまちづくりに合致するものであり、限られた資源を再利用し大量の廃棄物を出さない。一部改修費(空調設備など)の財源は取り壊し費用(現建屋建設費の3~4割相当)から捻出する。</p> <p><活用案></p> <p>①ロビーを含む1階部分は市民ギャラリー(多目的展示場)コンサート場など、そして絵画作品や文化財の収蔵庫に。</p> <p>②2階以上の各部屋は会議室、大災害時(南海トラフ大地震、気候変動による大水害等)の避難所に。特にベッドなどの病室設備や調理場や備蓄倉庫も有効利用。(現下の能登地震での避難の劣悪な環境問題から。)</p>	<p>市立三次中央病院建物については、施設・設備の老朽化や院内動線の改善、急性期医療を担う上での狭あい化などが進んでいることなどから、現在地での早期の全面建替えが望ましいと判断しました。</p> <p>また、現病院建物を残して整備を行う場合、どのようにしても駐車場が不足します。利用者の安全性と利便性を考慮し、病院に近接した駐車場を整備することが必要と判断しました。</p> <p>建替えにあたっては令和6年度から設計を行う予定ですが、環境負荷にも配慮した設計となるよう努めてまいります。</p>

		又、市の中核総合病院が目前に立地し被災者の利便性が良い。 ③駐車場は新建屋建設時の仮駐車場をそのまま新建屋の駐車所として残す。(元遊園地は別途利用状況など踏まえて再検討する。)	
18	22	1 建設費用や人件費が高騰しているが現状の基本計画で病院建替えは最終的に何億までなら可能なのか。また起債の返済計画は大丈夫でしょうか。	現時点で想定している事業費による収支シミュレーションの結果は、基本計画 P38 にお示しした通りです。 建設費について、今後、工事発注までの間に変動が見込まれることや設計を行っていない状況(仕様等が未確定)では詳細な積算はできません。基本設計、実施設計、建設工事と段階的に事業を進めていくなかで、事業費の削減に努めてまいります。
	23	2 病床数は 280 床高度急性期病床 65 床は地域医療構想を意識して計画されていますが備北圏域で 65 床が必要と言うことではありません。病院にとっての必要数にしてください。	三次市の病院が担うべき機能は広島県の策定する第 8 次保健医療計画および広島県地域医療構想で当院に求められた内容に沿ったものとなるように計画しています。
	24	3 診療報酬制度上、血液内科の新設、外科系の手術件数の増加により重症度・看護必要度は 7 対 1 基準をクリアしています。看護師確保対策に市・病院あげてとり組みましょう。	入院基本料の設定については、次年度の診療報酬改定の詳細や人員確保の状況を踏まえ検討していきます。 看護師の確保は喫緊の課題となっておりますので、市・病院をあげて引き続き取り組んでまいります。
	25	4 医師会立検査センターは今後、単独で運営が困難となります。新病院建設時に敷地内に検査センターを移転(建築費は医師会が負担)し共同で検査業務を実施を考えてください。	ご意見について参考にさせていただきます。
	26	5 全面建替が基本計画ですが外来診療部門、検査・放射線部門は残したままで、病棟や手術部門、救急部門の建て替えは現時点では無理でしょうか。やはり建設費用削減が必要です。	市立三次中央病院建物については、施設・設備の老朽化や院内動線の改善、急性期医療を担う上での狭あい化、さらに古い病院構造による患者・職員のアメニティの満足度が低いこと、高齢化医療に対応しにくいこともあり、現在地での早期の全面建替えが望ましいと判断しました。さらに、近年求められている感染対応や災害時対応に十分堪えられないこともわかってきたこともあります。 なお、建替えにあたっては令和 6 年度から設計を行う予定ですが、インシャルコストの縮減や、ライフサイクルコストの低減も含めた経済性に配慮した設計となるよう努めてまいります。

	27	6 災害拠点については、病院の前の室内テニスコートが大規模災害の施設として最も適しています。どのような改修ができればよいか考えて下さい。	市担当部署にご意見を伝えておきます。
	28	お世話になります。持続可能な素晴らしい病院を目指しましょう。たえず看護師不足が叫ばれ、いつも看護師募集の努力をされてきています。「2013年7対1看護師配置目指して看護師、助産師大募集」の横断幕が、2011年東日本大震災の年に病院に掲げられていたことを思い出します。あれから何年たっても、10対1の看護配置を保つのも大変だったと思われます。現在でも、看護師の人員確保が難しく空床が続くのならば、新病院ではさらなる病床数の削減が必要ではないでしょうか！他の病棟は変更せず急性期病棟を30床削減、病床稼働率を90%から95%に上げていただきます。病床250床で検討願います。	看護師の確保は喫緊の課題となっておりますので、市・病院をあげて引き続き取り組んでまいります。 一方、病床稼働率については、断らない救急医療を実施するためには、受け皿となる空床を確保しておく必要があるため、90%を目標と設定しております。
19	29	2022年9月検討委員会の結論305床の時に比べ46億円増と中国新聞は伝えていました。大阪万博工事や物価高騰などによるインフレや、広島駅北口の新しい1000床規模の建設工事が重なりさらなる建設費の増額が懸念されます。減額が必要です。 一方、病院の顔になる信頼できる思いやりのある外来と、広島や東京の医療レベルを取り入れた先進的な手術室と関連設備は、悔いの残らない場所として作りましょう	建設費については、ご指摘いただいたとおり、今後の工事発注までの間に変動が見込まれることや設計を行っていない状況(仕様等が未確定)では詳細な積算はできません。 基本設計、実施設計、建設工事と段階的に事業を進めていくなかで、高い医療水準を導入した計画としつつ、事業費の削減にも努めてまいります。
	30	看護師の定着を良くするにはどうすると良いかと、辞めてしましそうな年代の看護師に自由に意見を出してもらいましょう。若い人たちだけで自由に意見を出し合ってもらおうと良いのでしょうか！当事者の意見が大切でしょう。今、抱えている不満を出してもらいましょう。 例えば、コンビニ。外来患者さんや外部の人が自由に出入りできる1階の場所と、入院患者さんや看護師やスタッフの利用する2階の場所を、上下の所で2か所に出ると誰もが使いやすくなりそうです。削減できたお金で、看護師や職員の処遇を改善できそうです。	本基本計画については、新しく竣工した他の病院見学を行うなどして得た知見や課題など、現場職員の意見もできる限り反映しております。 設計以降の段階においても、設計者による職員ヒアリングを行いながら、意見を取捨選択しつつ新病建設事業を進めてまいります。

	31	<p>建設場所ですが、予定より建て床面積を小さくできれば、病院東側のテニスコートや運動場と、職員駐車場のある所に建設は出来ないものでしょうか。</p> <p>現在案の南側駐車場に新病院を建てる場合は、駐車場が少なくなり患者さんが大変困りそうです。工事車両が工事現場に出入りすると、なおさら危険を伴う感じですか。</p> <p>現病院東側に建設すれば、現在の駐車場を使い続けられます。また建設現場へのアクセス道路を運動公園入口からも道を拡幅させれば確保できそうです。併せてご検討ください。</p>	<p>みよし運動公園も多くの利用者がいることから、病院敷地内で整備することを前提にこれまで検討を進めてまいりました。</p>
	32	<p>三次市の人口は毎年 500 名以上減少しております。完成時には 4 万 5000 人。</p> <p>看護師の成り手も減少。患者さんの数も減少。300 億円かかっても三次市の負担は 100 億円で済むと思うのでしょうか？100 億円もかかります。病院はどれほどの利益を上げられるのでしょうか？</p> <p>金利が上昇する時代になれば、返済金額も膨らみます。返済計画は返済可能になっていますでしょうか？病院職員の意見集約をしっかりと図りましょう。</p>	<p>現時点で想定している事業費による収支シミュレーションの結果は、基本計画 P38 にお示しした通りです。</p> <p>基本設計、実施設計、建設工事と段階的に事業を進めていくなかで、事業費の削減に努めてまいります。</p>
	33	<p>市民の、市民による、市民のための病院という願いを込めて市立病院を市民病院に名前を変えてみませんか？</p>	<p>ご意見を参考に検討させていただきます。</p>
20	34	<p>第 2 章 15 患者支援センターの計画に、患者図書室という文言を拝見し、とても嬉しく思っています。できれば、がん患者への支援にとどまらず、診療科目すべてにむけての情報サービスを望みます。</p> <p>また、公共図書館の院内図書館機能もあれば、より機動力のある情報センターが誕生すると思います。</p> <p>紙媒体の資料に限らない、そして所蔵資料のみに限らない、情報支援が望まれる時代です。専門知識を学んだスタッフを配置し、細やかな支援ができるようにして欲しいです。</p>	<p>配架図書はがんに関するものが中心となりますが、インターネットでの情報検索が可能な端末も配置する想定です。</p> <p>その他のご意見についても参考に検討させていただきます。</p>

【連絡先】

住所：三次市東酒屋町10531番地

部署：三次市 市民病院部 病院企画課

電話：(0824) 65-0101 F A X：(0824) 65-0150

Eメール：byouin@miyoshi-central-hospital.jp